Rotary Club of Hiroshima New Generation

広島新世代ロータリークラブ会報

国際ロータリー第 2710 地区

Vol. 22

2026 年　8 月 20 日（木）第 22 回例会　【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会長　諏訪 昭浩　／　幹事　伊藤 弘幸　／　広報委員長（会報担当）　谷口 公啓

例会場　おりづるタワー5F「凛」（広島市中区大手町 1-2-1）

会　長　時　間　　諏訪昭浩　会長



ロータリーは自己教育運動です。当クラブの最大の特徴は、対外的奉仕の前に、会員が自己教育をして成長できることです。運営内規第 1 条の「広島新世代ロータリークラブの理念」を是非読み返して下さい。

ロータリークラブの会長の職務は、皆さんが良いロータリアン、良い人間、良い職業人になるための情報を会員の皆さんに伝え、ロータリーを語り、心を熱くしてもらうことです。幹事はクラブの運営の総責任者で、会長ではありませんので、会長はあまりクラブの運営に口は出さず、クラブの管理運営は幹事が仕切っていくのが通常のやり方です。ただ、創立年度と今年度は、内部体制が未熟なこともあって、ずいぶん口を出さざるを得なかったし、創立を言い出した人間の責任として、事務局の業務や幹事、委員長の業務のかなりの部分を代行してきました。しかし僕も人間なので限界はあります。創立以来、体重は 4 キロ減り、不眠、食欲不足が続いています。ロータリーというのは本来楽しいところなのですが、新しいクラブを作ることについては、周囲からの扱いや思わぬ誤解を受けるなど、非常にストレスがたまり、つらくなることもあります。おそらくそのせいだと思いますが、昨年は不整脈と異常な高血圧に見舞われ、4 月には心臓カテーテル手術を受けました。今は、言い出しっぺの責任だけは何とか全うしたいと思っていますが、自分の健康のために、早くどさっと肩の荷を下ろしたいと願っています。そのためにも、円滑なクラブ運営のためにも、今一度、みんなのためになると信じて行動している創立会長にどうか全面的なご協力をお願いいたします。

さて、皆さんが毎回、例会でご覧になるオープニングムービーですが、これは、ご覧になる会員の皆さんが、広島新世代ロータリークラブの会員であることを誇りに思い、ともに青少年奉仕や世界平和実現に向かっていこうと心を熱くされてほしいとの思いで作成したものです。

わがクラブはほかの多くのクラブと管理運営の仕組みや目指すところが全くと言っていいほど違います。その一番の違いは、ロータリーという運動の本質である、皆さんの「自己教育」を重視することです。会長だけでなく、成長支援委員会が中心となって、このクラブに入会して自分は変わったと思える仕組み、情報を積極的に提供しますので、それを受けて皆さんには各自、しっかり自己研鑽を行っていただきたい。これがわがクラブの一番の特徴です。

その特徴をしっかり認識され、何度も申し上げますが、運営内規第 1 条に明記している「広島新世代ロータリークラブの理念」を体にしみこませて、そのような人間になることを目指してください。そして、オープニングムービーをご覧になって、心を熱くしてください。

話は変わりますが、昨年度に創立したわがクラブにかけている重要なことがあります。それは、対外的奉仕の実践です。前年度はクラブの管理運営の仕組みを確立されることに専念するという意図で対外的奉仕を行いませんでしたが、奉仕の実践は、ロータリーではとても重要なことで、ただ考えるだけ、理論を

追求するだけでなく、奉仕を実践することが重要であるとされています。そこで、福本委員長の奉仕プロジェクト委員会に、今年度実践する奉仕活動を早期に具体化してほしいとリクエストしました。本来は、前年度に計画し、今年度に実践というくらいのタイムスケジュールで動くのですが、創立間がないこともあって、今年度少し遅くなっているのは致し方ないと思っています。奉仕プロジェクト委員会は、近いうちに委員会を開催されると聞いていますし、例会でプロジェクトについて報告してくれるはずです。

そのプロジェクトには、まちがいなく会員全員の参加、手助けが必要です。まずひとつ、今年度に実践してみましょう。青少年奉仕に重点を置くわがクラブならではのプロジェクトの案を提案しています。それが実現するかどうかわかりませんが、どんなプロジェクトであれ、今年度は全員で助け合って、一丸となって、それを実現しようではありませんか。ひとつでも奉仕活動を全員で実践したら、今までは考えられなかったような一体感が形成され、クラブ活動がもっと楽しく刺激的になるはずです。奉仕プロジェクト委員会の皆さんに期待しています。

以上で会長時間を終わります。

幹　事　報　告　　福本博之　幹事代行

- 会長時間において、諏訪会長が体重が減った事をお話しされましたが、私は体重が増えました。これもきっとストレスのせいです。ですので食事制限を始めました。
- ロータリーの友誌が受付カウンターの所に置いてありますので、お持ち帰りください。
- 10 月 24 日 25 日に宇部で開催されます地区大会の本登録の申し込みを済ませました。当クラブからは、諏訪・福本・谷口・山本博正・大上・藤野各会員の 6 名で参加申し込みをしました。9 月 18 日までは追加や変更が可能ですので、都合がついた方はお知らせ下さい。
- メーリングリストにも投稿しましたが、2710 地区より、広島ローターアクトクラブの千羽鶴例会の案内がありました。恒例の例会だそうですが、内容的に当クラブのテーマと合致しますので、行ってみたいと思われる方は、お申し出ください。
- 来年、バルセロナで行なわれる国際大会の件でお知らせいたします。9 月 17 日～21 日の間に申し込まれた場合、登録料が 31 歳以上：595 $、30 歳以下：250 $、5 歳～18 歳は 20 $、5 歳未満：無料となっています。お子様連れで行かれてみては如何でしょうか？9 月 22 日以降になると、登録料が 795 $ と一気に 200 $ 上がります。参加される方はお早目の申し込みがお得となっています。
- 先般の理事会で空席だった会長エレクトの選任、理事 2 名の追加を決議しました。次回例会（9 月 3 日）において、会員の皆様のご承認を頂く予定です。出来るだけ多くの会員のご出席（リアル・ネット）をお願い致します。
- 8 月末日を以て、平本裕一郎会員、小野優人会員から退会の申し出がありました。平本会員は仕事と家庭の事情、小野会員はロータリー活動と自らの仕事他の生活の関係をもう一度見直したい、との事でした。

・出席に関する事ですが、例会参加（リアル・オンライン）が 4 回連続なかった場合は何らかの措置をとる事になりますので、ご注意ください。出来るだけリアルタイムでの参加をお願い致します。

出　席　報　告　　管理運営委員会　大上進　会員

区　分	内　容
本日の出席（リアル／オンライン）	11 名／4 名
出席率（7 月第 1 週）	100.0%
出席率（7 月第 3 週）	100.0%

ス　マ　イ　ル　BOX　管理運営委員会　委員長代行　諏訪昭浩会員

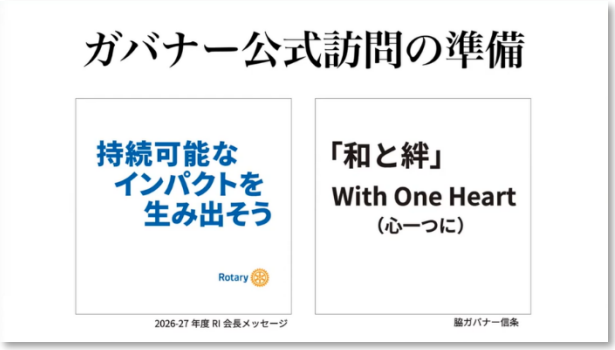
本日は 0 件でした。

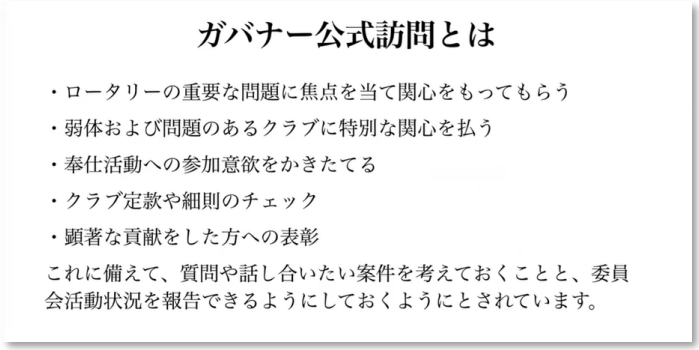
プ　ロ　グ　ラ　ム

クラブ協議会

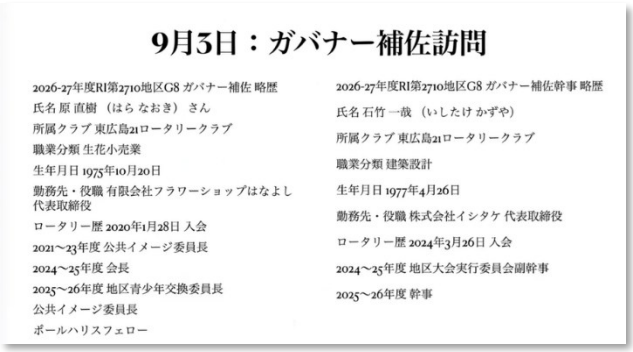
先ずは福本博之幹事代行より、プログラム内で行われたクラブ協議会の趣旨説明がありました。

★本日のクラブ協議会は、10 月 1 日に予定されている、2026-2027 年度 2710 地区　脇和也ガバナーの公式訪問と、それに先立ち 9 月 3 日の例会後に行われる原直樹ガバナー補佐を交えて行われるクラブ協議会についての説明と、その準備についてご説明致します。









広島新世代RC例会・クラブ協議会 次第

出席者：全会員
例会：通常例会
クラブ協議会：
10月1日のガバナー公式訪問の進め方について話し合う

ガバナー補佐から（メール）：
クラブ協議会：クラブ会長方針、クラブ概況、活動（事業）計画書に基づく各委員会報告
現状と課題：クラブの現状や課題について
地区への要望・質問：地区への要望、または地区・脇ガバナーへのご質問等

質問案①クラブの管理運営について（管理運営委員会）

担当：

当クラブは、スポンサークラブや専任事務局を持たずに創設されたことから、既存の運営方法をそのまま踏襲するのではなく、自分たちのクラブにふさわしい管理運営のあり方を、一つひとつ考えながら築いてまいりました。

創立会長が描いたクラブの理念や設計を大切にしながら、現在もより良いクラブ運営を目指して、会員同士で対話を重ね、改善を積み重ねています。

そこでガバナーにお伺いいたします。

クラブが継続的に発展し、地域や社会への奉仕活動をより充実させていくために、管理運営の基盤を整えることについて、ガバナーはどのようにお考えでしょうか。また、そのために大切にすべきことがありましたら、ご教示いただければ幸いです。

質問案②会員の成長を支えるクラブの役割について（成長支援委員会）

担当：

私たちは、ロータリーの魅力は奉仕活動だけではなく、会員一人ひとりが学び、成長し、人としての幅を広げていけることにもあると考えています。

そのため当クラブでは、クラブ運営内規において、広島新世代ロータリークラブを「泥沼に美しい蓮の花を咲かせようとする人々」の集まりと定め、会員一人ひとりの成長を支えることもクラブの大切な役割と位置付けています。その考えのもと、「成長支援委員会」を設置し、それぞれの学びや気づきを支える活動に取り組んでいます。

そこでガバナーにお伺いいたします。

クラブが会員の成長を支える役割について、ガバナーはどのようにお考えでしょうか。また、地区とクラブがそれぞれの立場で会員の学びを支えていく上で、大切にすべき役割や関わり方について、ご所見をお聞かせいただければ幸いです。

質問案③会員増強について（会員増強委員会）

担当：

私は、「会員増強」という言葉を耳にするたびに、一つ考えることがあります。

ロータリーは会員を迎え入れる組織ですが、これからの時代は、ロータリー自身もまた、社会から選ばれる存在であることが大切ではないでしょうか。

私たちは、会員数を増やすことだけを目的とするのではなく、「このクラブで学びたい」「この仲間と活動したい」「この理念に共感した」と思っていただけるクラブであることが、結果として会員増強につながるものと考えています。

広島新世代ロータリークラブも、「新しい世代に選ばれるロータリー」を目指し、多様な価値観を持つ人々とともに歩みながら、社会とのつながりを深めていきたいと考えています。

そこでガバナーにお伺いいたします。

これからのロータリーが社会から選ばれ続ける存在であるために、各クラブはどのような価値を育み、発信していくことが大切だとお考えでしょうか。また、そのために私たちが日々意識すべきことがありましたら、ご教示いただければ幸いです。

委員会報告

①管理運営委員会（諏訪さん）
②成長支援委員会（諏訪さん）
③会員増強委員会（渡辺さん）
④広報委員会（谷口さん）
⑤奉仕プロジェクト委員会（福本）

ガバナー補佐からの要望（ガバナー公式訪問時）

（1）ガバナーとして特定のクラブフォーラムの議題を指定いたしません。

各クラブの実情に合わせ、自由にご設定ください。

その中で、「各クラブ独自の魅力、強み、自慢できる点」についてぜひお聞かせください。

フォーラムの形式は、活動（事業）計画書に基づき協議会方式/RLI方式等、クラブ独自に設定してください。

（2）公式訪問前の懇談会では、会長、会長エレクト、幹事、幹事エレクトのご出席をお願いいたします。

会長・幹事の方は会員数の推移や会員増強、退会防止の現状をお聞かせください。

会長・幹事懇親会 次第

出席者：諏訪さん、谷口さん、福本

17:00 諏訪 昭浩 会長 挨拶

17:05 脇 和也 ガバナー 挨拶

懇談

17:25 謝辞 谷口 公啓 副会長

17:30 記念撮影 ()

広島新世代RC例会 次第

出席者：全会員
17:59 入場
18:00 点鐘
ロータリーソング 我等の生業
四つのテスト唱和 成長支援委員会
来賓紹介 諏訪 昭浩 会長
来客紹介 管理運営委員会
18:10 会長時間
18:20 幹事報告
出席報告
委員会報告
同好会報告
18:30 卓話 脇 和也 ガバナー
18:55 謝辞 諏訪 昭浩 会長
19:00 点鐘

フォーラム 次第

出席者：全会員
19:00 開会の挨拶 諏訪 昭浩 会長
ガバナー挨拶 脇 和也 ガバナー
19:10 フォーラム
司会：G8ガバナー補佐 原 直樹氏
19:45 講評 脇 和也 ガバナー
19:55 閉会の挨拶 谷口 公啓 副会長
20:00 閉会

委員会報告　管理運営委員会　委員長代行　諏訪昭浩会員

年度に入り、例会運営に必要な、1 階受付、5 階受付、SAA、最低 3 名の担当者を決定しました。そして、本日 8 月 20 日、例会終了後に全員参加で第 1 回委員会を開催する予定です。委員会では、クラブの理念の再確認、今年度のクラブ委員会構成の確認、管理運営委員会の役割の確認、などについて、短時間で話し合いを行う予定です。管理運営委員会は、クラブの管理運営を支える広範な責務を持つ委員会です。漏れのない計画策定と確実な実施がなければクラブの運営が混乱します。そのため、全ての必要事項を幹事の協力を得て明らかにし、必要な計画を立て確実に実施していきます。また、会員間の親睦促進も重要な役割です。隔週例会であるため時間を取ることが難しいのですが、工夫をして可能な限り務めます。必要なだけ委員会を開催し、皆様が心地よいと思われる例会を実現していきます。

例会プログラムを含めたクラブの年間スケジュールを幹事と協議して大枠を決定するのも当委員会の役割です。少し遅くなりましたが、ガバナー公式訪問など、クラブにとって重要な日程を確実に把握し、必要な準備を行います。会員がクラブ全般のことについて話し合う場であるクラブ協議会は、年に原則 4 回をスケジュールに盛り込みます。7 月と 8 月の例会プログラムは事前にそのような重要行事に対する配慮が不十分であったので、他の委員会による手続きが混乱して申し訳ございませんでした。このようなことも含めて，クラブの潤滑な管理運営のために、必要な仕組み作り、全てはカバーできませんが、その明文化を、幹事および関連委員会と共に進めていきますので、仕組みが確定する前の段階では是非ご寛容の精神を、そして完成までのご協力をお願いいたします。

成長支援委員会　諏訪昭浩　委員長

前年度 6 月 8 日に第 1 回次年度成長支援委員会を全員参加で開催し、当クラブの理念の確認、クラブの委員会構成の確認、成長支援委員会の役割の確認、次年度事業計画書の確認、毎月第 1 例会で行う「四つのテスト」唱和担当者の決定、第 2 例会で行う「ロータリー情報の提供」担当者の決定、「会員のロータリアンとしての成長のために必要な情報を提供するための「ラーニングセミナー」の企画実施が必要であることの確認、新会員のオリエンテーションの方法についての協議、クラブラーニングファシリテーターの指名を行いました。山本さんの敦煌で飲食を伴う委員会でしたので、会員間の親睦を図ることもできました。また、9 月 16 日には 2 回目の委員会を開催する予定です。会員の皆様の成長に資する委員会活動を行って参ります。

会員増強委員会　渡辺郁　委員長

会員増強委員長として、少しお時間をいただきます。

今年度が始まってまだ間もない中、すでに 3 名の方が退会されました。私はこれを、単に「会員が 3 名減った」という数字の問題として捉えてはいけないと思っています。会員増強委員会の役割は、新しい会

員を連れてくることだけではありません。今年度の活動目標にも、「誰もがここにいていいと感じられる環境づくり」と明記されています。

では今、私たちのクラブは、誰もが「ここにいていい」と感じられる場所になっているでしょうか。3名の退会を受けて、私たちは何かを改善する必要があるのでしょうか。それとも、それぞれの事情による退会として、特に改善する必要はないのでしょうか。

私は、その答えを持っているわけではありません。だからこそ、皆さんと一緒に考えたいと思っています。

つい先日ご案内した通り、会員増強委員会を開催し、委員以外の方にも参加していただいて、率直な意見を聞かせていただきました。そこで改めて感じたのは、私たちはそれぞれ、この広島新世代ロータリークラブに何かを期待して入会してきた、ということです。

ロータリーだからこそ出会える人とのつながり。

ロータリーについて学ぶこと。

自分自身が成長すること。

奉仕をすること。

そして、立場や年齢、経験の違う人たちと意見を交わすこと。

期待しているものは、一人ひとり違います。

一方で委員会では、

「もっと参加する機会がほしい」

「もっとロータリーについて学びたい」

「聞くだけではなく、自分たちが話せる場がほしい」

「クラブとして何を目指しているのか、もっと共有したい」

「意見を言える、風通しの良いクラブであってほしい」

という声もありました。

どれも、とても大切な声だと思っています。

そこで、皆さんにも少し考えていただきたいのです。私たちは今、自分が入会したときに期待していたものを、このクラブの中に見つけられているでしょうか。

そしてもう一つ。今の私たちは、このクラブを誰かに「一緒に入らない？」と、自信を持って勧められるでしょうか。私は、この問いを会員増強の出発点にしたいと思っています。「クラブ」という人格が、どこかに存在しているわけではありません。クラブをつくっているのは、ここにいる私たち一人ひとりです。

私たちがどう話すのか。

人の意見をどう聞くのか。

違う考えをどう受け止めるのか。

新しく入ってきた人にどう接するのか。

その一つひとつがクラブの空気をつくり、雰囲気をつくり、やがて文化になっていくのだと思います。だから、今のクラブに課題があるとしても、それを変えられるのも私たちです。

会員増強というと、どうしても「何人入会させるか」に目が向きがちです。もちろん、新しい仲間を迎えることは大切です。でも、その前に、今、所属している会員全員が「ここに居続けたい」と思えること。そして、「このクラブなら、大切な人を仲間として誘いたい」と思えること。私は、そこから始めたいと思っています。

そしていつか、今期退会された方々にも、「もう一度、広島新世代の仲間と一緒に活動してみたい」

と思っていただけるくらい、私たちのクラブが進化し、成長していたら、とても素敵なことだと思います。

退会された 3 名を、単に「辞めた人」として終わらせるのではなく、その方々が残してくださった声も、これからのクラブづくりに生かしていきたいと思っています。そして、会員増強も会員維持も、会員増強委員会だけでできることではありません。誰かがクラブを良くしてくれるのを待つのではなく、私たち一人ひとりがクラブをつくっている。そのことを、今一度、皆さんと共有したいと思います。

9 月 17 日の例会では、会員増強のプログラムとして、「あなたが居続けたいクラブとは？」をテーマに、皆さんと一緒に考える時間をつくります。誰かを批判する場でも、誰かが正解を示す場でもありません。安心してそれぞれが感じていることを話し、違う意見にも耳を傾ける。そんな時間にしたいと思っています。

今いる人が、居続けたい。

一度離れた人が、また戻ってきたい。

そして、自分の大切な人を、ここに誘いたい。

そんな広島新世代ロータリークラブを、私たち自身の手でつくっていきたいと思っています。ぜひ 9 月 17 日、皆さんの率直な声を聞かせてください。どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会　谷口公啓　委員長

今年度の活動方針は、「デジタルとリアルの融合による『見える化』の推進と会員価値の創造 ― そして『平和都市・広島』からの国際的発信」と致しました。

計画の柱は 3 本です。それは、

① ウェブサイト戦略（外部発信と内部充実）

② メディア・地域連携

③ Peace Make-up in Hiroshima プロジェクトの推進

です。

① は、一般公開用 Web サイトを充実させて我がクラブの理念や活動内容を広報する事と、会員専用サイトを用いてクラブ内情報の共有を図る事の 2 つの面があります。前者は最新情報の発信等を活発化させて一般広報に寄与し、後者は会員間の情報・意識レベルの共通化を図るものです。現在開発途上のクラブ運営サポートシステム「ServeCore」の充実を図り、並走状態の会員専用サイトを徐々に縮小して「ServeCore」に一本化する予定です。

② は、地元の各種メディアにパブリシティを掛け、我がクラブの事を取り上げてもらう事です。この件に関しては、先般委員会を開いた際に事情通の会員からある提案がありました。これを基に委員会で話し合って具体化する予定です。

③ は、広報委員会だけではなくクラブ横断的な計画となり、1 年では成し得ないものと考えております。詳細につきましては、資料を作成しておりますので改めてクラブ内で共有したいと考えております。

奉仕プロジェクト委員会　福本博之　委員長

8 月１９日に ZOOM にて今年度最初のインフォーマルミーティングを行い、本年度の事業計画に上げている 4 つの内容について具体化に向けて進めることを確認しました。

1 つ目が、日本発達支援サッカー協会の活動の支援です。こちらは杉岡さんが代表をされている団体です。4 月 3 日は昨年と同様にグリーンアリーナでサッカー大会を行います。前日の 4 月 2 日にはエディオンピースウィングスタジアムで海外の子供達を招いた大会を計画中です。当クラブとしては、昨年同様の会場運営のお手伝いに加え、2 日のイベント実現に向けてロータリーネットワークを使った海外とのつながりづくりや、ポリオ根絶に向けた募金活動などを行いたいと考えております。

2 つ目が、RYLA（Rotary Youth Leadership Awards：ロータリー青少年指導者養成プログラム）の主催です。一泊二日程度で１０人程度の参加者をつのって開催できないかと考えています。RYLA は、14 歳から 30 歳までの若者を対象に、リーダーシップスキルやコミュニケーション能力を育むためのプログラムです。企画内容はもとより、どうやって若者を集めるかも今後の検討課題です。

３つ目が、沖縄や長崎のクラブとの連携を進め、共同プロジェクトを推進することですが、こちらは今年度どうこうというわけでもなく、長期的に取り組んでいきたいと考えています。

４つ目が、海外在住の被爆者・死没者の確認を進めることです。人によってはセンシティブで触れられたくない内容だと思いますので十分に配慮しつつ、まずは目的や方針を明確にして、誰でも共通認識が持てて同じような説明ができるよう企画書もまとめていきます。これについては、渡辺さんがすでにブラジルのクラブとのコネクションをお持ちですし、私福本も国際大会で出会ったサンパウロのクラブにいらっしゃる日系ブラジル人ともコンタクトをとって進めていきます。

これらの４つの内容は、奉仕プロジェクト委員会が中心になって進めますが、クラブ全体で取り組むものです。例会などで都度ご案内していきますので、一緒に楽しみながら有意義な活動にしていければと思います。

―以　上―